

No.	19-1-10	場所	飯田市川路	次世代への継承キーワード
名称	天竜川の氾濫で横倒しになった家			地域コミュニティ
災害現象	家屋の被災			河川 天竜川本川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

飯田市の川路地区は、天竜川や久米川からの土砂を含んだ濁流で水没し、江戸時代の大洪水である「末の満水」さながらの状態となった。濁水は住宅の二階まで達し、全半壊、床上・床下浸水などが相次いだ。川路駅も屋根まで水没し、川路小学校は二階の窓まで水に浸かった。当時日本三大桑園といわれた広大な桑畑も消滅した。

●体験談：災害当時、飯田市川路中学校2年生
「おばさん、水がついて来て逃げてきたで、おらして。」といったら、
「さあさあ、早くこれで足をふいてあがっておいな。」
といて、ぼろ布を出してくれた。
(中略)
「うちももうだめだ。流されてしまう。」とため息をつく。
息を吸えばため息ばかり出る。私もなんだかさみしくなった。家の中を本流が流れているのだ。そして豚が五匹ばかりたすかただけで、あとはみんな流れてしまったと言った。私は家がどうなったのか、おかあちゃ達は死にやせんかと心配でたまらなかった。朝になりだいぶ人の声がするようになった。大勢の人が、
「初瀬屋があぶない。」といてさわいでいる。
ザーザーザーと音をたてて、竹をかついて走る人もいる。たわら、かますなどのかついで歩いていく。私は障子の穴からそれをみていた。家の少し下の方は、屋根だけ出ている家が六軒もあった。白っぽく濁った水で湖水みたいだ。おばさんの話だと、B組の〇〇さんの家は屋根まで水がついて、
「助けて下さい。△△」
と旗に書いて立てていて、警察のボートにきてもらって逃げたそう。文子さんの方は家がつぶれたとのうわさだが、どうしているだろうか。友達の事が急に心配になってきた。皆んな無事だといいいんだけど。

(「濁流の子」p.40より)

記 録



飯田市川路地籍天竜川氾濫による家屋倒壊状況

出典 「語り継ぐ災害の記録」p.50/ 「濁流の子」p.40

備考

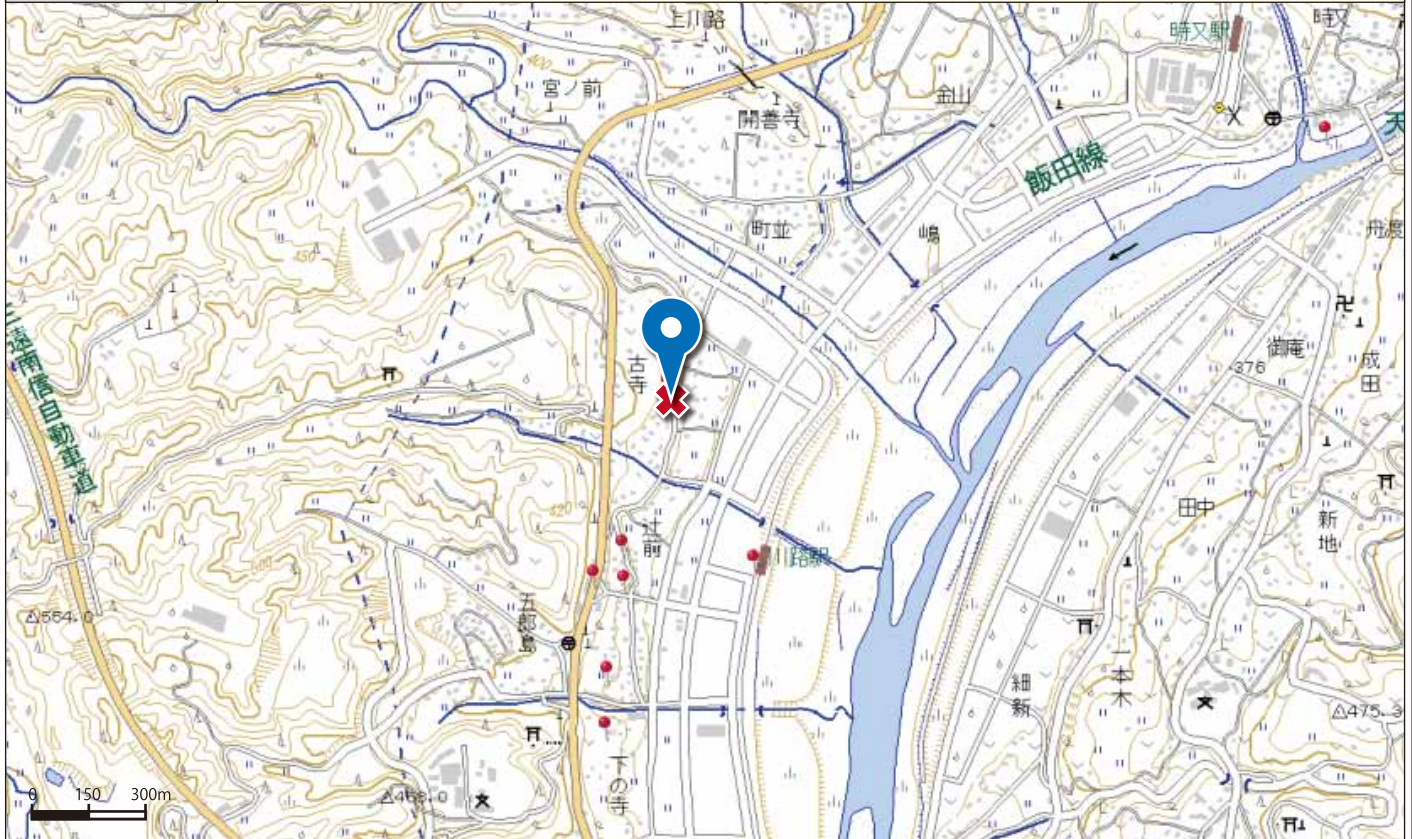
No.	19-1-10	場所	飯田市川路	緯度	35.456469
-----	---------	----	-------	----	-----------

名称	天竜川の氾濫で横倒しになった家	経度	137.813428
----	-----------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。